



GOOD DESIGN
AWARD 2017

FreeStyle リブレは、2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。

グルコース測定の新たな展開

アボットのフラッシュグルコース
モニタリングシステムのご紹介



FreeStyle

Abbott

グルコース測定の新たな展開

アボットのフラッシュグルコースモニタリングシステムは、患者さんと医療従事者の方々のニーズにフレキシブルに対応します

フラッシュグルコースモニタリングシステムには「FreeStyleリブレ」と「FreeStyleリブレPro」の2種類があります。

FreeStyleリブレ、FreeStyleリブレProはともに、工場出荷時にキャリブレーションを実施済みであり、指先穿刺によるキャリブレーションを行う必要がありません。^{*1}



*1 血糖値が急激に変化している状況で測定した間質液血糖値が正確に血糖値を反映していない可能性がある場合、低血糖または低血糖の可能性が報告された場合、また測定値と症状が一致していない場合には、血糖測定機能を用いて指先での測定を行ってください。

センサー^{*2}は、間質液中のグルコースを持続的に測定します。

- 出荷時較正済、使用時の血糖自己測定による較正は必要ありません。
- いつでも、どこでも、測定が可能です。^{*3}
- 最長14日間にわたって、信頼性の高いグルコースデータを提供します。
- センサーは、安定した正確性を維持するために、Wired Enzymeテクノロジーを採用しています。
- 不快感や痛みがない装着感です。
- 使い捨てで、クリーニングや消毒の必要はありません。
- アクティブな生活が可能になる耐水性設計です。^{*4}

*2 FreeStyleリブレ、FreeStyleリブレProのセンサーはそれぞれ専用となっており互換性はありません。

*3 厚さ4cm以内の衣服の上からReaderで読み取ることができます。

*4 水深1メートルで最長30分間の耐水性試験を実施済みです。



対象	患者さん向け	医療従事者向け
センサーの装着期間	最長14日間	
グルコース値の測定方法	日常生活のなかで患者さんがいつでも測定可能	患者さんの来院時に医師が測定
指先穿刺によるキャリブレーション	必要なし*	必要なし
センサーの装着	患者さんが上腕後部に装着	医療従事者が患者さんの上腕後部に装着
センサーメモリー	8時間(グルコース値を毎分測定し、15分ごとにグルコース値を自動的に記録) ※8時間に一度はスキャンを行ってください	最長14日間(持続的に測定し、15分ごとにグルコース値を自動的に記録)
リーダーの仕様	<ul style="list-style-type: none">● 患者さん自身が保有して使用● 1つのReaderが同時に対応するセンサーは1つ● 測定データは90日間保存され、豊富なわかりやすいグラフで履歴を表示します● 厚さ4cm以内の衣服の上から読み取ることができます● 見やすく、操作しやすいタッチスクリーン● いつでも、どこでも、測定が可能	<ul style="list-style-type: none">● 医療従事者が保有し、施設内で使用● 1つのReaderを複数の患者さんのセンサーに対応させて使用可能● 詳細なグルコースデータが最大14日間分表示されます● 14日分の測定結果の読み取り時間は5秒以内● 厚さ4cm以内の衣服の上から読み取ることができます● 見やすく、操作しやすいタッチスクリーン
血糖測定機能	あり(専用測定電極で血糖値および血中ケトン体の測定が可能)	なし

* 血糖値が急激に変化している状況で測定した間質液血糖値が正確に血糖値を反映していない可能性がある場合、低血糖または低血糖の可能性が報告された場合、また測定値と症状が一致していない場合には、血糖測定機能を用いて指先での測定を行ってください。



FreeStyle

「FreeStyleリブレ」 「FreeStyleリブレPro」の特徴

フラッシュグルコースモニタリングシステムは 糖尿病患者さんの血糖管理に貢献します

●FreeStyleリブレ



FreeStyle
リブレ

患者さんの良質な血糖コントロールのために、
豊富なグルコース情報を「見える化」します。

- 患者さん個々が在宅で使用できるようデザインされています。
- 指先に針を刺すことなく測定が可能です*。
- 測定データは一目でわかるグラフで表示されます。
- 見やすく、操作しやすいタッチスクリーンです。
- 低血糖リスクの軽減に寄与することが臨床データで示されています。<海外データ>^{1), 2)}
- MARD(平均絶対的相対的差異)は11.4%です。³⁾

*血糖値が急激に変化している状況で測定した間質液血糖値が正確に血糖値を反映していない可能性がある場合、低血糖または高血糖の可能性が報告された場合、また測定値と症状が一致していない場合には、血糖測定機能を用いて指先での測定を行ってください。



◆このような患者さんにFreeStyleリブレが適しています。

- 糖尿病患者さん全般(インスリン自己注射を行っている患者さんに保険適用されています)。
- 低血糖(夜間低血糖を含む)を管理したい患者さん。
- 血糖変動を良好に管理したい患者さん。
- 血糖レベルを良好に管理したい患者さん。
- 血糖値管理を見直したい患者さん。

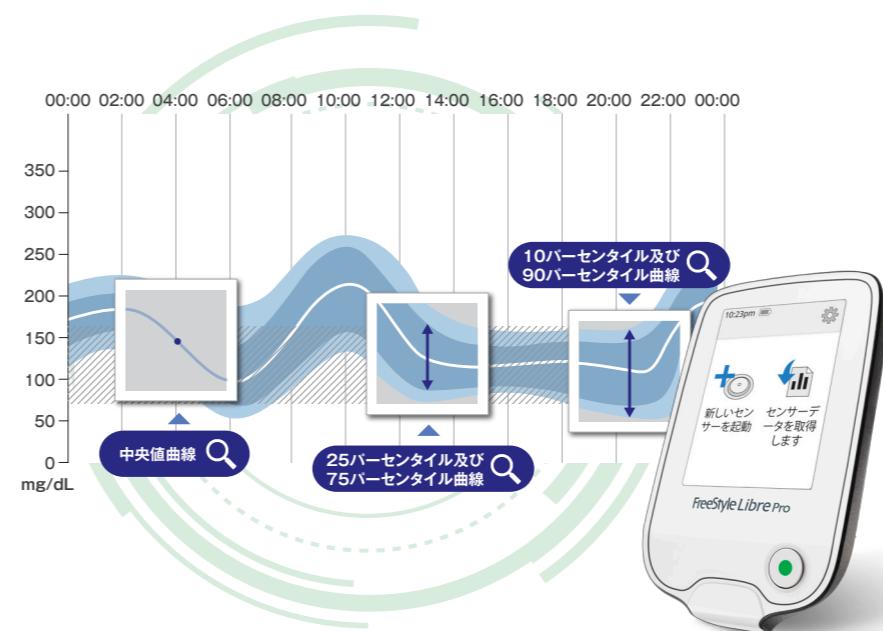
●FreeStyleリブレPro



FreeStyle
リブレ Pro

これまでの測定方法を変革する、医療従事者のための
グルコース評価ツールです。

- Reader1台で複数以上の患者さんのデータを読み取ることができます。
- 昼夜を通して高血糖および低血糖がわかります。
- 患者のグルコースパターンを客観的に把握することができます。
- センサーの貼付、データ読み込みなどの作業が非常に簡単です。
- MARD(平均絶対的相対的差異)は11.1%です。⁴⁾



◆糖尿病治療の最適化に役立つ以下の情報を提供します。

- AGPによる詳細なグルコースプロファイル。
- 最長14日分のレトロスペクティブなグルコース値。
- 昼夜を通しての高血糖、低血糖およびグルコース変動。
- グルコース値スパイクの存在。
- HbA1cとSMBGの値が乖離している原因。

1) Bolinder J et al. Lancet. 2016; 388: 2254-2263.

2) Haak T et al. Diabetes Ther. 2017; 8: 55-73.

3) Bailey T et al. Diabetes Technol Ther. 2015; 17: 787-794.

4) Data on File, Abbott Diabetes Care Inc, Clinical Report: Evaluation of the Accuracy of the Abbott Sensor-Based Interstitial Glucose Monitoring System- Professional.

保険償還

FreeStyleリブレ		FreeStyleリブレPro	
保険適応	C150 血糖自己測定器加算	保険適応	Reader : D231-2 皮下連続式グルコース測定
対象	インスリン・ヒトソメトマジン製剤、 GLP-1RAの自己注射実施患者		センサー : 158 皮下グルコース測定電極
施設制限	なし	施設制限	以下の施設基準に適合し、地方厚生局長等に届け出た保険医療機関に限り算定できる <施設基準> <ul style="list-style-type: none">● 糖尿病の治療に関し、専門の知識及び少なくとも5年以上の経験を有する常勤の医師が1名以上配置されていること● 持続皮下インスリン注入療法を行っている保険医療機関であること
技術料については、以下のとおりとする			特定保険材料 158 皮下グルコース測定電極 保険償還価格 6,310円
技術料	1. 月20回以上測定する場合	350点	関連技術料 D231-2皮下連続式グルコース測定 保険点数 700点
	2. 月30回以上測定する場合	465点	
	3. 月40回以上測定する場合	580点	
	4. 月60回以上測定する場合	830点	
	5. 月90回以上測定する場合	1,170点	
	6. 月120回以上測定する場合	1,490点	

留意事項：(5) フラッシュグルコース測定機能を持つ血糖自己測定器を使用する場合であっても、フラッシュグルコース測定以外の血糖自己測定をした回数を基準に算定する。

※診療所において行われる場合は、6月に2回に限り算定可能。



FreeStyle

<http://myfreestyle.jp>

アボット ジャパン株式会社



adc-cs.jp@abbott.com



0120-37-8055

